

6月21日(水) 『 もう一回作ろうか!! 』



「ねえ、砂で大きな山作ろう」と保育者を誘ってきた友だちがいました。「大きいくしたらトンネル掘ろうね」と言い、ドンドン砂を積んでいくと「手伝う」と他の友だちも入ってきました。山が大きくなるとてっぺんに棒を刺したくなるようでしたが、「トンネルにするんだから周りを固めるんだよ」と言い始める友だちが出てくると「確かに」「そうだよ」と役割分担が出来ていました。

「よし!!大きい山になったからトンネル掘るぞ」と掛け声がかかると棒倒しの要領で周り全体を掘り始めて「あぁ、倒れた～」「崩れた～」と笑いあっていました。初めにトンネルを作ろうと遊びを始めた友だちの気持ちを考えると、他の子たちに声を掛けた方が良いのかも思いましたが、始めた本人が「トンネルはそうやって作るんじゃないよね」「もう一回作ればいいか」と遊び時間が『あと1分』の中で作り直そうとしているので保育者はその気持ちに寄り添って、もう一度作ることに手伝いました。

もちろん最後まで作ることは出来ず、また、その山も平らにするか、そのままにするかでもう一度活動は止まりましたが、友だちの遊びやイメージ、やりたいことを受け入れて自分の気持ちを伝えながらも立て直すことが出来るようになってきた姿を嬉しく思いました。